

事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本総合整備計画事業

- ・さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備＜
第4期＞（防災・安全）
- ・さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備＜
第4期＞（防災・安全）（重点計画）

《建設局下水道部下水道計画課》

公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要										
計画(事業)の名称		さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期> (防災・安全)								
計画(事業)の期間		令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)								
計画の目標		下水道整備を行い、「安全で安心に暮らせる都市づくり」、「環境に配慮した快適な暮らし」、「健全で持続的な事業経営」の実現を図る。								
計画の成果目標 (定量的指標)		地震災害により下水道施設が被災した場合の社会的な影響を最小化するため、重要な下水道管(約770km)の耐震化率を53%とする。 中心市街地周辺の下水道管約1,400kmのうち、点検・調査により対策が必要と判定した下水道管について改築を行い「下水道管の健全化率」を100%とする。 ストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場施設などで稼働する老朽化した電気・機械設備について、計画的に改築を実施し、ポンプ場の改築実施率を100%とする。								
定量的指標 の定義及び 算定式	指標	定量的指標の現況値及び目標値								
		当初現況値	中間目標値	最終目標値						
		(令和8年度当初)	(令和10年度末)	(令和12年度末)						
		指標①	重要な下水道管の耐震化率=(耐震診断の結果、耐震性が確認された延長+耐震化工事実施延長)(km) / 重要な下水道管(770km)(km) × 100(%)	34%	45%	53%				
指標②	下水道管の健全化率=(点検・調査の結果、健全が確認された延長+改築実施延長)(km) / 中心市街地周辺の下水道管(1,400km)(km) × 100(%)	63%	85%	100%						
指標③	ポンプ場の改築実施率=改築を実施したポンプ場数(か所) / 対象ポンプ場数(11か所)(か所) × 100(%)	0%	45%	100%						
全体事業費	合計(A+B+C)	6,456(百万円)	A	6,456(百万円)	B	0(百万円)	C	0(百万円)		

(2) 交付対象事業の詳細											
A 下水道事業(基幹事業)											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益比 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R8	R9	R10	R11	R12		
1	地震対策(管渠)	下水道	L=105km	—	■	■	■	■	■	2,091	
2	改築更新(管渠)	下水道	L=5.2km	—		■	■	■	■	624	
3	改築更新(ポンプ場)	下水道	ポンプ場11か所	—	■	■	■	■	■	3,741	
合計(下水道事業)										6,456	

担当部局	建設局 下水道部 下水道計画課 TEL: 048-829-1565 E-mail: gesuido-keikaku@city.saitama.lg.jp
------	---

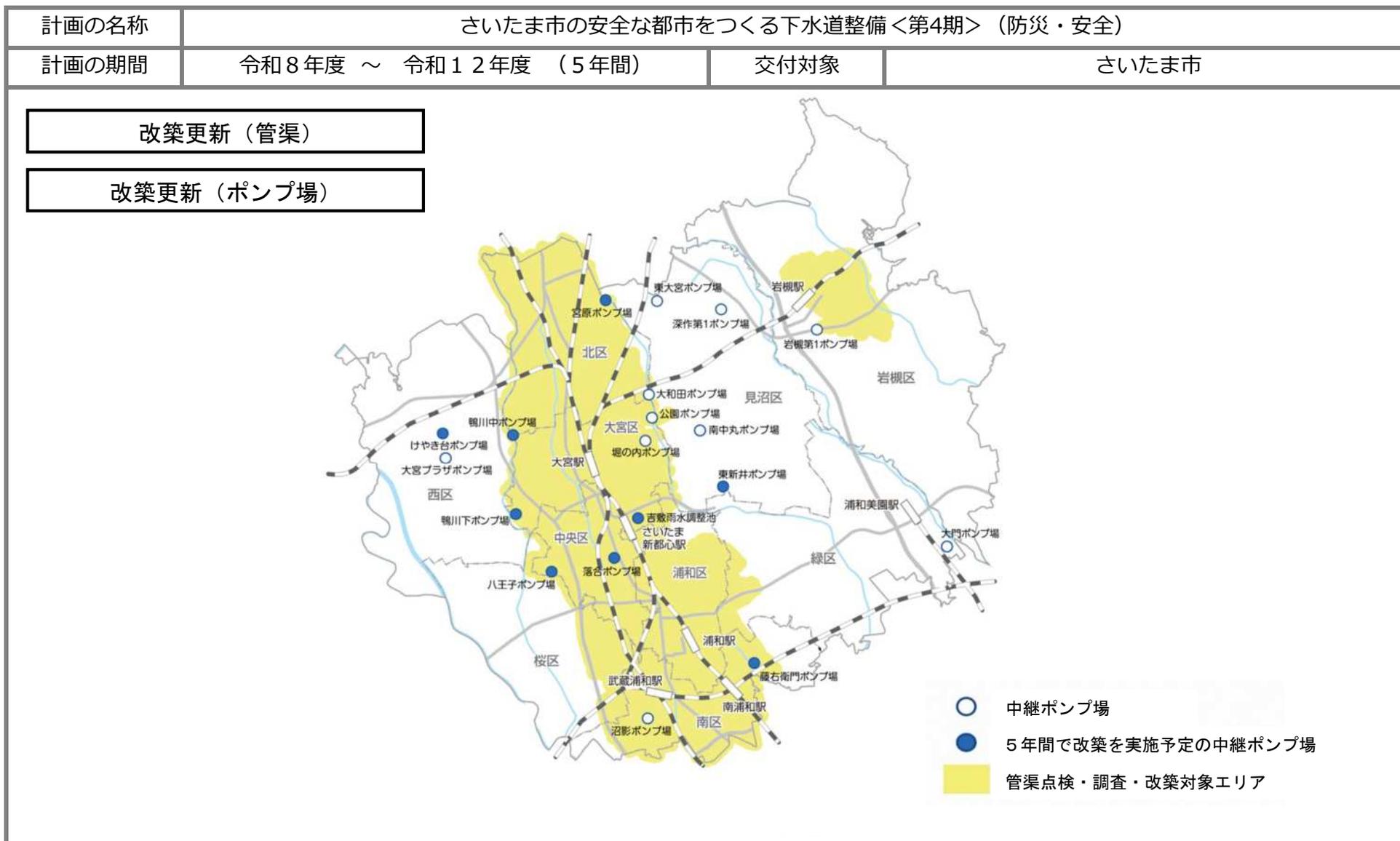
参考図面

計画の名称	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期> (防災・安全)		
計画の期間	令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)	交付対象	さいたま市

地震対策 (管渠)



参考図面



公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要										
計画(事業)の名称		さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期> (防災・安全) (重点計画)								
計画(事業)の期間		令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)								
計画の目標		下水道整備を行い、「安全で安心に暮らせる都市づくり」、「環境に配慮した快適な暮らし」、「健全で持続的な事業経営」の実現を図る。								
計画の成果目標 (定量的指標)		優先して浸水対策を実施する「整備促進エリア」43か所のうち、11か所の浸水対策を完了し、浸水対策実施率を26%とする。 地震災害により下水道施設が被災した場合の社会的な影響を最小化するため、重要な下水道管(約770km)の耐震化率を53%とする。 大雨や河川氾濫により浸水被害が想定されるポンプ場4施設について、排水機能の停止に伴う社会的な影響を最小限にするため耐水化対策を実施し、ポンプ場の耐水化実施率を100%とする。 排水機能の停止に伴う社会的な影響を最小限にするため、東大宮ポンプ場において非常用電源を確保し、ポンプ場の非常用電源確保率を100%とする。								
定量的指標 の定義及び 算定式		定量的指標の現況値及び目標値								
		当初現況値	中間目標値	最終目標値						
		(令和8年度当初)	(令和10年度末)	(令和12年度末)						
	指標①	浸水対策実施率=整備促進エリア対策完了数(か所) / 整備促進エリア数(43か所) (か所) × 100(%)	0%	16%	26%					
	指標②	重要な下水道管の耐震化率=(耐震診断の結果、耐震性が確認された延長+耐震化工事実施延長)(km) / 重要な下水道管(770km)(km) × 100(%)	34%	45%	53%					
指標③	ポンプ場の耐水化実施率=耐水化対策を実施したポンプ場数(か所) / 対象ポンプ場数(4か所)(か所) × 100(%)	0%	50%	100%						
指標④	ポンプ場の非常用電源確保率=非常用電源を確保したポンプ場数(か所) / 対象ポンプ場数(1か所)(か所) × 100(%)	0%	100%	100%						
全体事業費	合計(A+B+C)	14,313(百万円)	A	14,313(百万円)	B	0(百万円)	C	0(百万円)		

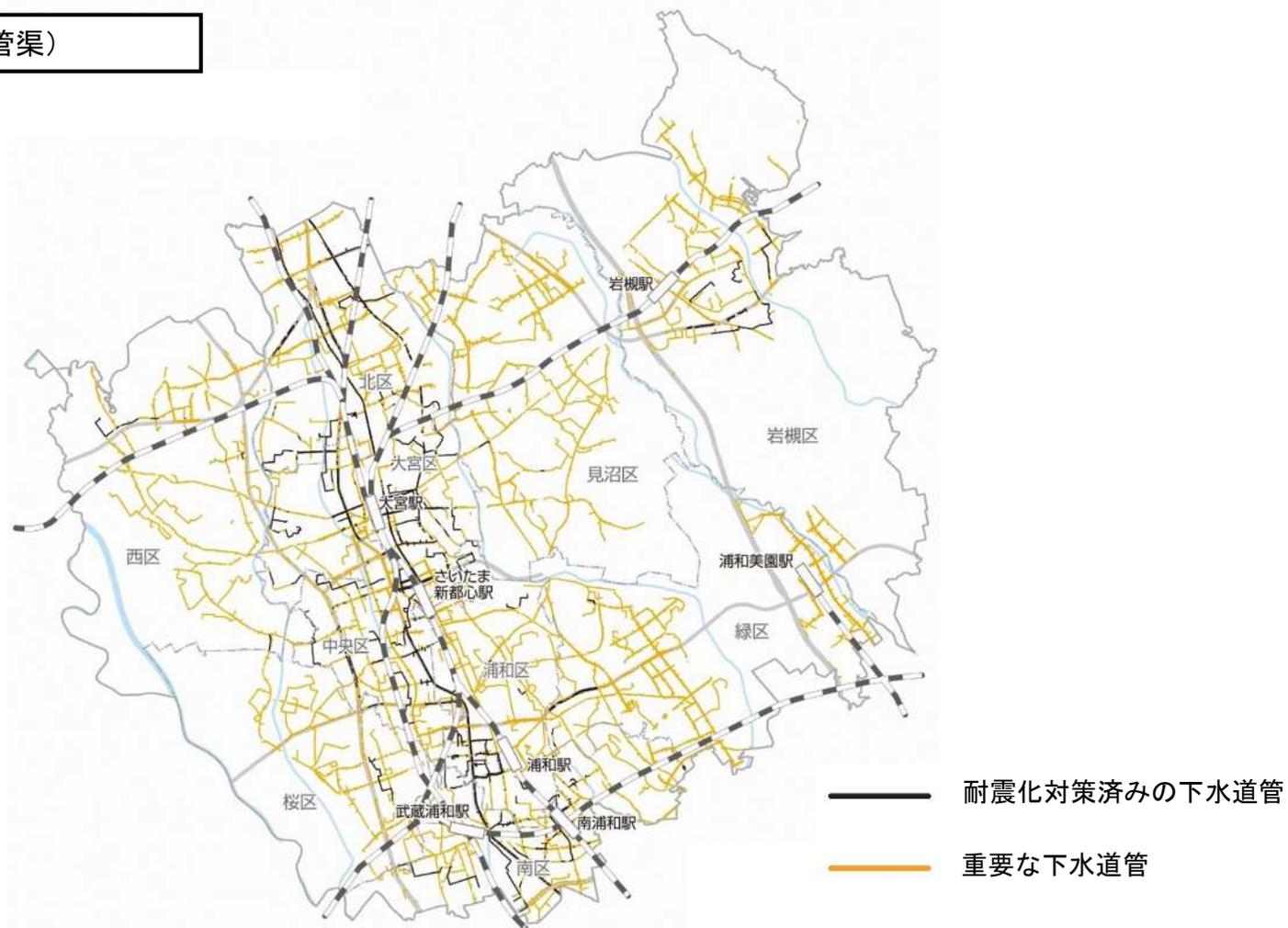
(2) 交付対象事業の詳細											
A 下水道事業(基幹事業)											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益比 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R8	R9	R10	R11	R12		
1	浸水対策(管渠・貯留施設)	下水道	11か所	-	■	■	■	■	■	627	
2	地震対策(管渠)	下水道	L=129km	-	■	■	■	■	■	12,850	
3	耐水化(ポンプ場)	下水道	ポンプ場4か所	-		■	■	■	■	629	
4	非常時電源の確保(ポンプ場)	下水道	東大宮ポンプ場	-		■	■			207	
合計(下水道事業)										14,313	

担当部局	建設局 下水道部 下水道計画課 TEL: 048-829-1565 E-mail: gesuido-keikaku@city.saitama.lg.jp
------	---

参考図面

計画の名称	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	令和8年度～令和12年度（5年間）	交付対象	さいたま市

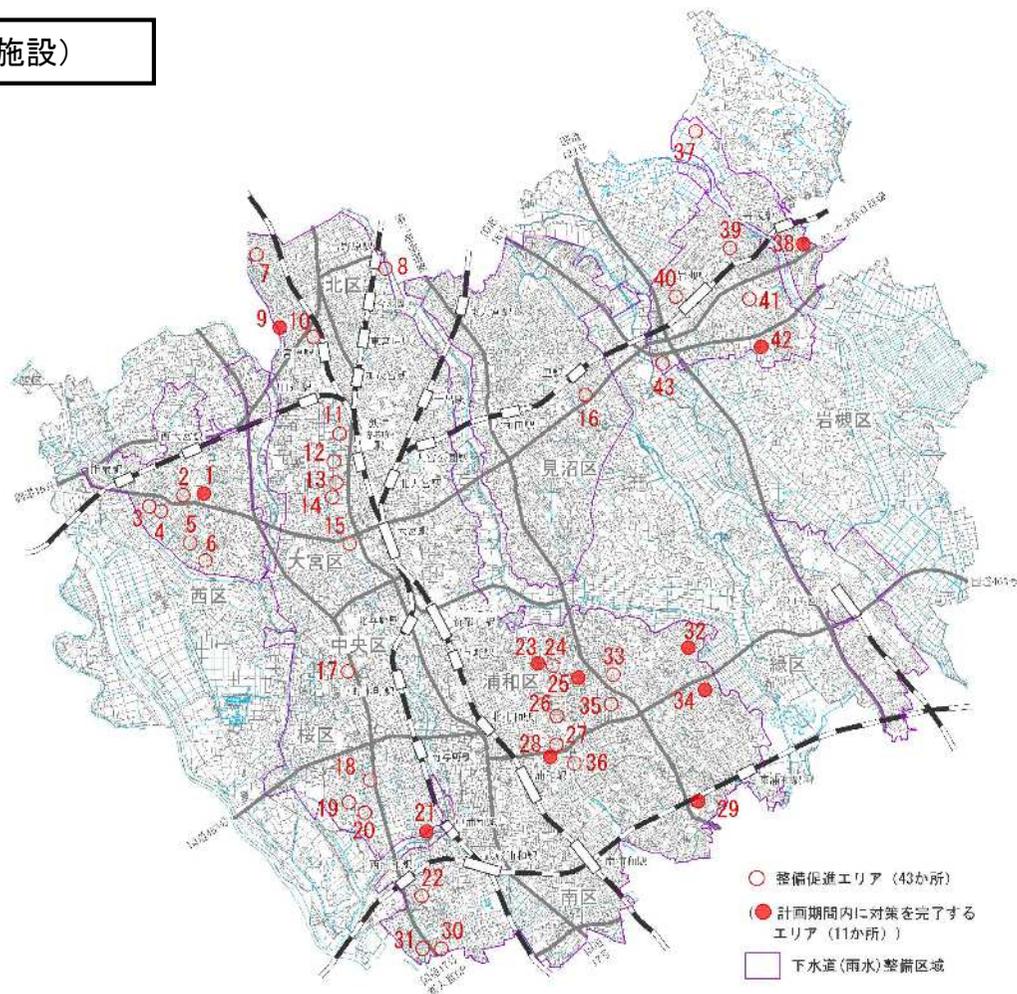
地震対策（管渠）



参考図面

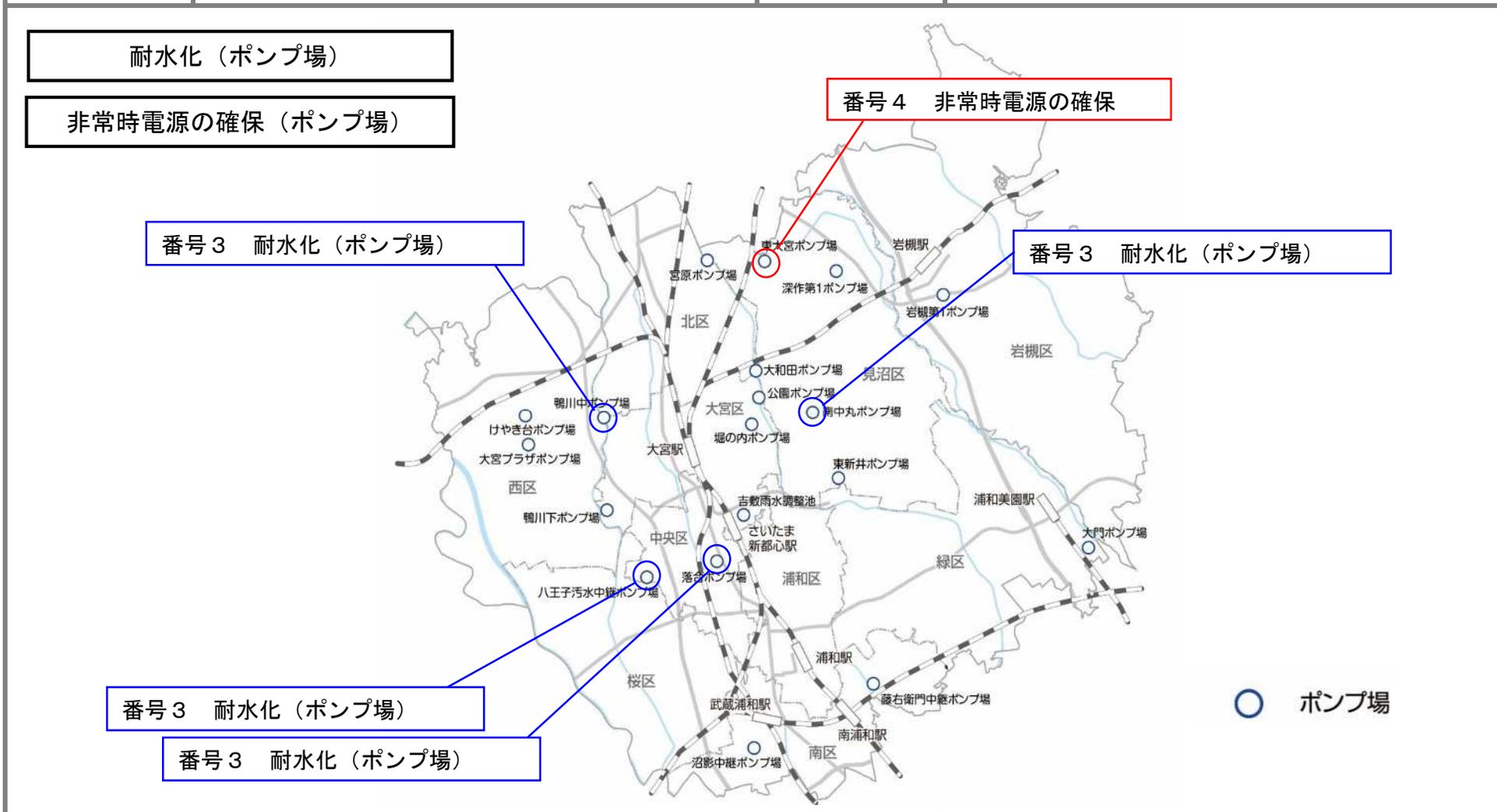
計画の名称	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期> (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)	交付対象	さいたま市

浸水対策 (管渠・貯留施設)



参考図面

計画の名称	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期> (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)	交付対象	さいたま市



社会資本総合整備計画

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>(防災・安全)
さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>(防災・安全)(重点計画)

さいたま市公共事業評価審査会

令和8年1月26日

建設局 下水道部 下水道計画課

目次

1. 計画概要及び上位計画における位置づけ
2. 各要素事業の概要について
3. 定量的指標及び成果目標について

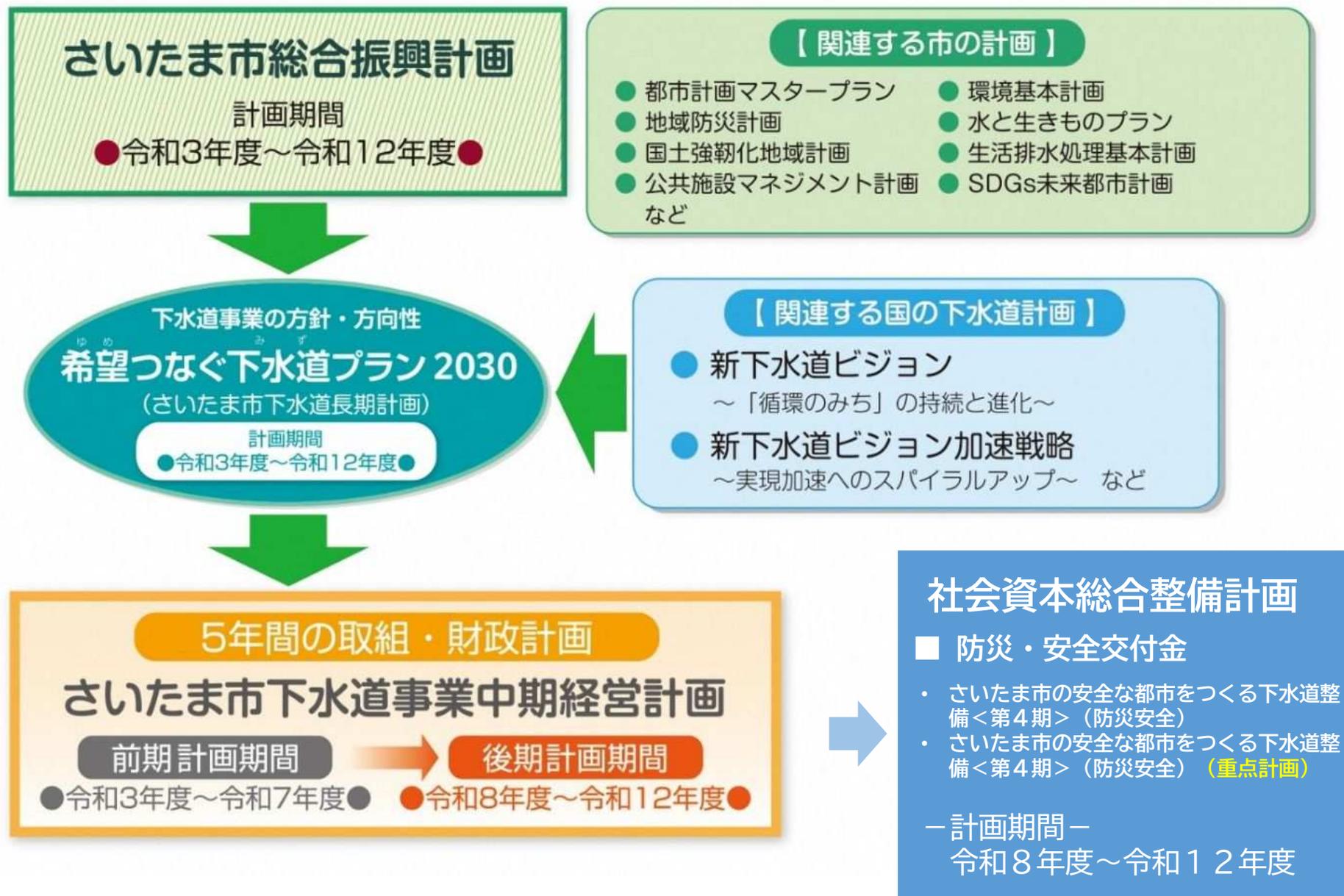
1. 計画概要及び上位計画における位置づけ

■ 計画概要

交付金の種類	防災・安全交付金	
計画名称	さいたま市の安全な都市をつくる 下水道整備〈第4期〉 (防災安全)	さいたま市の安全な都市をつくる 下水道整備〈第4期〉 (防災安全) (重点計画)
計画期間	令和8年度～令和12年度(5年間)	
計画目標	下水道整備を行い、「安全で安心して暮らせる都市づくり」、 「環境に配慮した快適な暮らし」、「健全で持続的な事業経営」の実現を図る。	
要素事業	地震対策(管渠)	浸水対策(管渠・貯留施設)
	改築更新(管渠)	地震対策(管渠)
	改築更新(ポンプ場)	耐水化・非常用電源の確保(ポンプ場)

1. 計画概要及び上位計画における位置づけ

■ 上位計画



1. 計画概要及び上位計画における位置づけ

■ 下水道長期計画 (令和3年度～令和12年度)

概要

様々な課題に対応するため、下水道の基本的な方針や方向性を示すもの

主な施策

地震対策の推進

ストックマネジメントの推進

浸水対策の推進



■ 下水道事業中期経営計画 (後期: 令和8年度～令和12年度)

概要

長期計画で定めた各施策について具体的な指標や目標設定し、実行・評価を行うもの

目標指標

重要な下水道管の耐震化率53%

ポンプ場非常用電源1か所の確保

ポンプ場11か所の改築

中心市街地周辺の下水道管の健全化率100%

整備促進エリア11か所の対策完了

ポンプ場4か所の耐水化

目次

1. 計画概要及び上位計画における位置づけ
- 2. 各要素事業の概要について**
3. 定量的指標及び成果目標について

2. 各要素事業の概要について

■要素事業一覧

要素事業	交付金の種類	事業内容	全体事業費 (百万円)	交付金対象事業のスケジュール				
				R8	R9	R10	R11	R12
(1) 地震対策(管渠)	防安	105km	2,091	■	■	■	■	■
(2) 改築更新(管渠)		5.2km	624		■	■	■	■
(3) 改築更新(ポンプ場)		11か所	3,741	■	■	■	■	■
(4) 浸水対策 (管渠・貯留施設)	防安 (重点)	11か所	627	■	■	■	■	■
(5) 地震対策(管渠)		129km	12,850	■	■	■	■	■
(6) 耐水化(ポンプ場)		4か所	629		■	■	■	■
(7) 非常用電源の確保 (ポンプ場)		1か所	207		■	■		

2. 各要素事業の概要について

防安

(1) 地震対策(管渠)

■補助メニュー:下水道総合地震対策事業

【目的】 下水道システムの「急所」となる施設の耐震化、災害拠点病院・避難所・防災拠点などの重要施設に接続する上下水道管路の一体的な耐震化等によって、震災時にも下水道機能を確保

【交付対象事業】

- ① 「上下水道耐震化計画」に位置付けた、災害拠点病院・避難所等の重要施設に接続する管渠及びポンプ施設を耐震化する事業
- ② 災害対策基本法及び同法に基づく地域防災計画に位置付けられた緊急輸送路の下に埋設されている管渠並びに道路法に基づく重要物流道路の下に埋設されている管渠の耐震化事業
- ③ 令和6年度末までに策定済みである「下水道総合地震対策計画」に基づく事業(計画期間内(本市では令和9年度まで)に限り交付対象)

※①及び③が重点計画の対象

2. 各要素事業の概要について

防安

(1) 地震対策(管渠)

■事業内容

- 総延長約3,560kmの下水道管のうち、緊急輸送道路の下に埋設される下水道管および避難対策施設・防災拠点施設・災害医療機関などの重要施設から排水を受ける下水道管、中継ポンプ場下流の圧送管の約770 kmを「重要な下水道管」に位置付け、耐震化を進めます。
- また、上下水道システムにおける重要施設に接続する管路等において、上下水道施設の一体的な耐震化を効果的・効率的に実施するとともに、耐震化が困難なポンプ場下流の圧送管では、2条化などの検討を進め、地震対策を進めます。

■工事概要

- 下水道管とマンホールの接続部分の耐震化
- 下水道管の耐震補強(管更生など)
- 耐震診断 等

2. 各要素事業の概要について

■ 参考図面 【地震対策(管渠)】

防安

防安 (重点)



2. 各要素事業の概要について

防安

(2) 改築更新(管渠)

■補助メニュー: 下水道ストックマネジメント支援制度

【目的】下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減

【交付対象事業】

- ① 下水道施設の計画的な改築を行うため、必要な点検・調査および点検・調査結果に基づく「下水道ストックマネジメント計画」の策定
- ② 「下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的な改築

■事業内容

- 下水道管の老朽化に起因する道路陥没等の防止や、流下機能を確保するため、中心市街地周辺の下水道管約1,400kmを優先し、点検・調査をおこない、対策が必要と判定された管きよの改築を進めます。

■工事概要

- 下水道施設の補強(管更生など)・布設替え

2. 各要素事業の概要について

防安

(3) 改築更新(ポンプ場)

■補助メニュー: 下水道ストックマネジメント支援制度

【目的】 下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減

【交付対象事業】

- ① 下水道施設の計画的な改築を行うため、必要な点検・調査および点検・調査結果に基づく「下水道ストックマネジメント計画」の策定
- ② 「下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的な改築

■事業内容

- 下水道ストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場施設などで稼働する電気・機械設備について、点検調査や劣化予測などにより状態把握をおこない、機能停止を未然に防止するため計画的に改築更新を実施します。

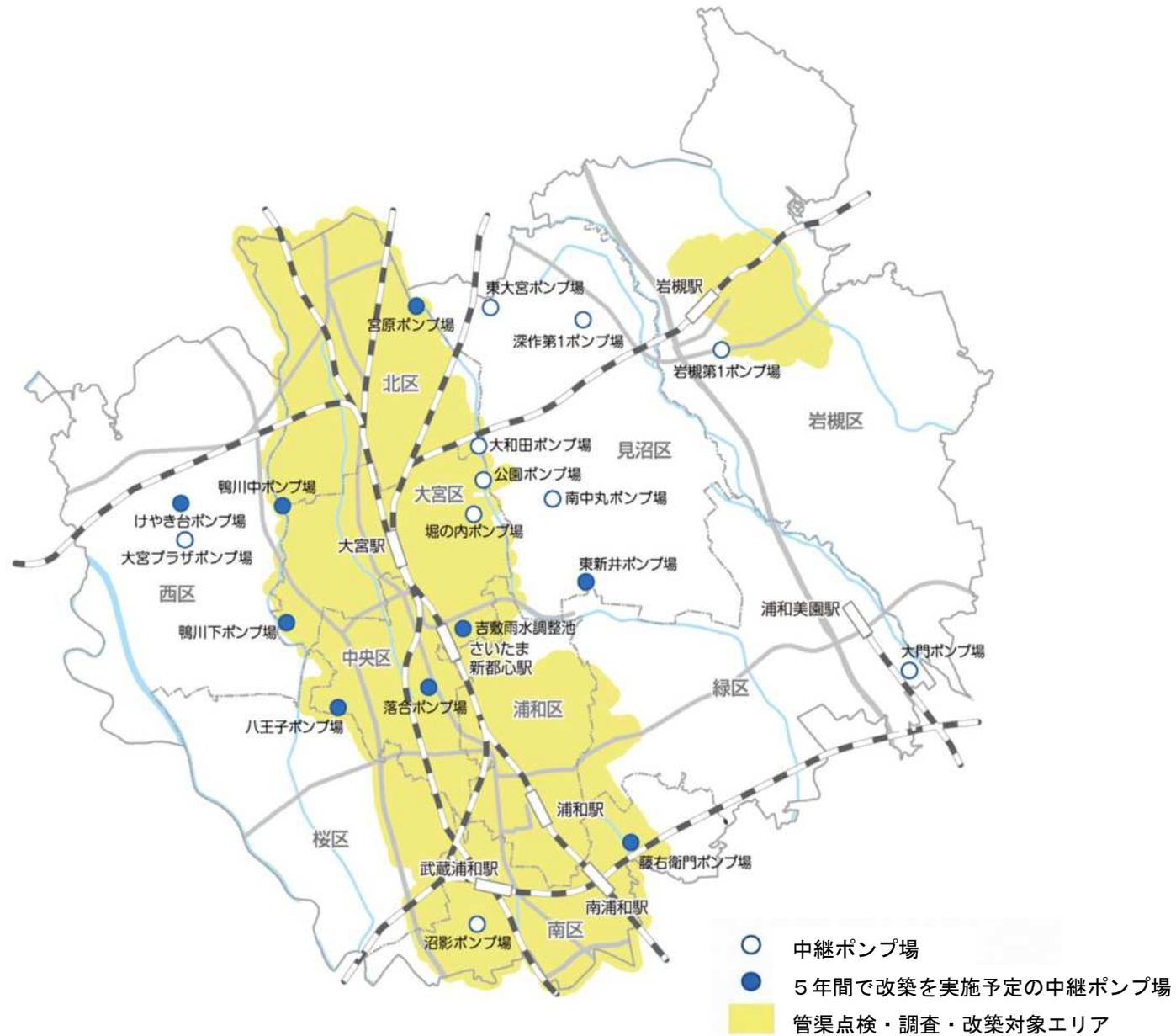
■工事概要

- 機械・電気設備などの改築更新・長寿命化対策

2. 各要素事業の概要について

防安

■ 参考図面 【改築更新(ポンプ場)】【改築更新(管渠)】



2. 各要素事業の概要について

防安（重点）

(4) 浸水対策（管渠・貯留施設）

■補助メニュー：下水道事業計画に基づく浸水対策事業

【目的】地域特性に応じた雨水管・雨水貯留施設等のハード整備の推進

【交付対象事業】

- 合流管渠（予定処理区域面積500ha未満）：口径2,000mm以上もしくは下水排除面積40ha以上、雨水管渠（予定排水区域面積100ha未満）：口径1,200mm以上もしくは下水排除面積10ha以上

■事業内容

- 浸水対策を効率的・効果的に進めるため、浸水被害の状況や市民からの要望を踏まえ、優先して対策を実施する地区として「整備促進エリア」を設定し、雨水管や雨水貯留施設等の整備を進めます。
- 気候変動による将来の降雨量増加を考慮し、「整備強化エリア」を定め、新たな計画降雨に対応した浸水対策を進めます。

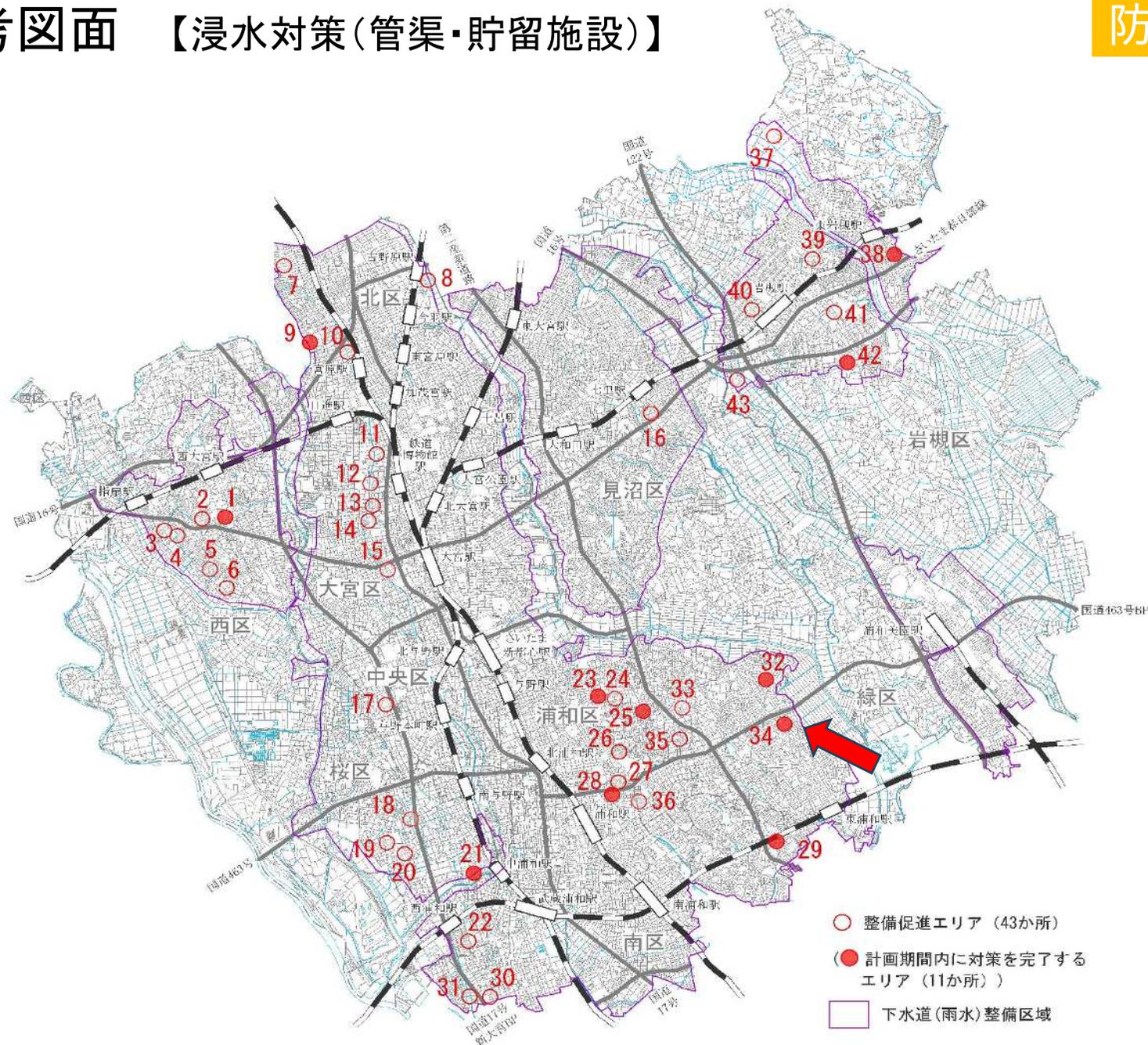
■工事概要

- 雨水管渠、貯留施設の設置

2. 各要素事業の概要について

参考図面 【浸水対策(管渠・貯留施設)】

防安 (重点)



2. 各要素事業の概要について

(5) 地震対策(管渠)

防安(重点)

■補助メニュー:下水道総合地震対策事業

【目的】 下水道システムの「急所」となる施設の耐震化、災害拠点病院・避難所・防災拠点などの重要施設に接続する上下水道管路の一体的な耐震化等によって、震災時にも下水道機能を確保

【交付対象事業】

- ① 「上下水道耐震化計画」に位置付けた、災害拠点病院・避難所等の重要施設に接続する管渠及びポンプ施設を耐震化する事業
- ② 災害対策基本法及び同法に基づく地域防災計画に位置付けられた緊急輸送路の下に埋設されている管渠並びに道路法に基づく重要物流道路の下に埋設されている管渠の耐震化事業
- ③ 令和6年度末までに策定済みである「下水道総合地震対策計画」に基づく事業(計画期間内(本市では令和9年度まで)に限り交付対象)

※①及び③が重点計画の対象

(5) 地震対策(管渠)

防安(重点)

■事業内容

- 総延長約3,560kmの下水道管のうち、緊急輸送道路の下に埋設される下水道管および避難対策施設・防災拠点施設・災害医療機関などの重要施設から排水を受ける下水道管、中継ポンプ場下流の圧送管の約770 kmを「重要な下水道管」に位置付け、耐震化を進めます。
- また、上下水道システムにおける重要施設に接続する管路等において、上下水道施設の一体的な耐震化を効果的・効率的に実施するとともに、耐震化が困難なポンプ場下流の圧送管では、2条化などの検討を進め、地震対策を進めます。

■工事概要

- 下水道管とマンホールの接続部分の耐震化
- 下水道管の耐震補強(管更生など)
- 耐震診断 等

2. 各要素事業の概要について

再掲

参考図面 【地震対策(管渠)】

防安

防安 (重点)



2. 各要素事業の概要について

(6) 耐水化(ポンプ場)

防安(重点)

■補助メニュー: 国民の安全・安心の確保に向けた取組(下水道事業)

【目的】 台風や豪雨から下水道施設の浸水被害を最小限にするため、施設の耐水化を推進

【交付対象事業】

- 下水道施設の耐水化(浸水対策)事業

■事業内容

- 大雨や河川氾濫などにより浸水被害が想定される中継ポンプ場について、排水機能の停止に伴う社会的な影響を最小限にするため、「下水道施設耐水化計画」に基づき、機器設備などの改築・更新と併せポンプ場の耐水化を行います。

■工事概要

- 防水扉・止水板の設置(改築)、耐水型ポンプの設置(更新)
- 配線貫通部の閉塞

2. 各要素事業の概要について

(7) 非常用電源の確保(ポンプ場)

防安(重点)

■補助メニュー: 国民の安全・安心の確保に向けた取組(下水道事業)

【目的】 停電時における下水道施設の操作機能の確保

【交付対象事業】

- 下水道施設の非常用電源確保(地震対策)事業

■事業内容

- 地震などの災害時における大規模な停電に備え、下水道が最低限有すべき機能を確保するため、非常用電源設備のない中継ポンプ場に、非常用自家発電設備を確保する。

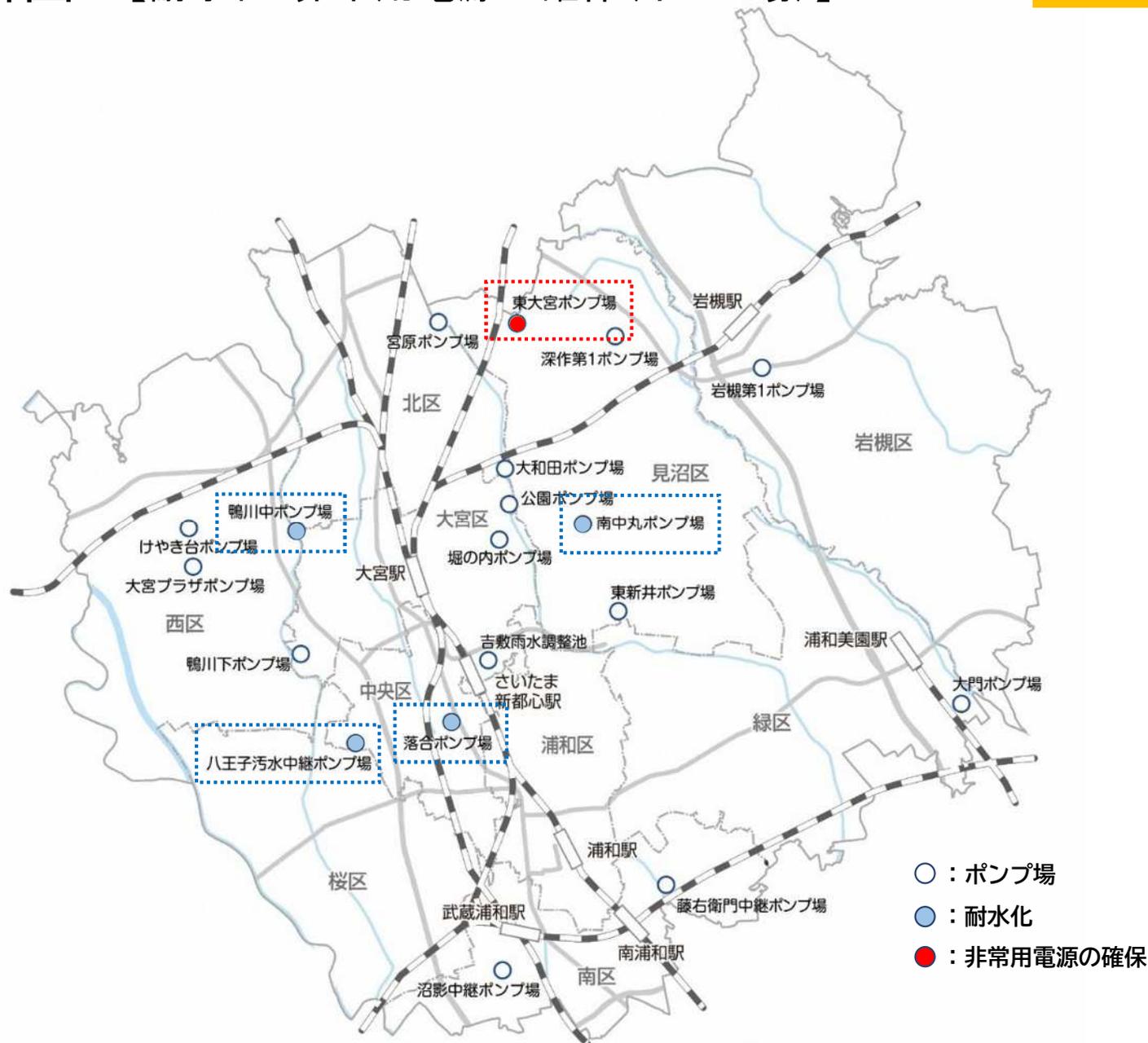
■工事概要

- 非常用自家発電設備・燃料タンクの設置、自家発電棟の建設など

3. 各要素事業の概要について

■事業箇所図 【耐水化・非常用電源の確保(ポンプ場)】

防安 (重点)



目次

1. 計画概要及び上位計画における位置づけ
2. 各要素事業の概要について
3. 定量的指標及び成果目標について

3. 定量的指標及び成果目標について

■要素事業と指標の関係性

《要素事業》

《定量的指標》

防災・安全交付金

地震対策(管渠)

改築更新(管渠)

改築更新(ポンプ場)

指標① 重要な下水道管の耐震化率

指標② 下水道管の健全化率

指標③ ポンプ場の改築実施率

防災・安全交付金(重点計画)

浸水対策(管渠・貯留施設)

地震対策(管渠)

耐水化(ポンプ場)

非常用電源の確保(ポンプ場)

指標① 浸水対策実施率

指標② 重要な下水道管の耐震化率

指標③ ポンプ場の耐水化実施率

指標④ ポンプ場の非常用電源確保率

3. 定量的指標及び成果目標について

【防安】指標① 重要な下水道管の耐震化率

■対応する事業

地震対策(管渠)

■計画の成果目標

地震災害により下水道施設が被災した場合の社会的な影響を最小化するため、重要な下水道管(約770km)の耐震化率を53%にします。

■指標の定義

重要な下水道管(緊急輸送道路の下に埋設される下水道管および避難対策施設・防災拠点施設・災害医療機関などの重要施設から排水を受ける下水道管、中継ポンプ場下流の圧送管)のうち、「耐震診断の結果耐震性が確保された延長」と「耐震化工事実施延長」の合計の割合

■定量的指標の現況値及び目標値

定量的指標	現況値	目標値				
	R7 (見込み)	R8	R9	R10	R11	R12
重要な下水道管(約770km)の耐震化率	34%	38%	41%	45%	49%	53%

3. 定量的指標及び成果目標について

【防安】指標② 下水道管の健全化率

■対応する事業

改築更新(管渠)

■計画の成果目標

中心市街地周辺の下水道管約1,400kmのうち、点検・調査により対策が必要と判定した下水道管について改築を行い「下水道管の健全化率」を100%とします。

■指標の定義

中心市街地周辺の下水道管のうち、「点検・調査の結果、健全性が確認された延長」と「改築実施延長」の合計の割合

■定量的指標の現況値及び目標値

定量的指標	現況値	目標値				
	R7 (見込み)	R8	R9	R10	R11	R12
下水道管の健全化率 (中心市街地周辺約 1,400km)	63%	70%	77%	85%	93%	100%

3. 定量的指標及び成果目標について

【防安】指標③ ポンプ場の改築実施率

■対応する事業

改築更新(ポンプ場)

■計画の成果目標

ストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場施設などで稼働する老朽化した電気・機械設備について、計画的に改築を実施し、ポンプ場の改築実施率を100%とします。

■指標の定義

計画期間中の対象ポンプ場11か所のうち、改築を実施したポンプ場数の割合

■定量的指標と目標値

定量的指標	目標値				
	R8	R9	R10	R11	R12
A:改築を実施したポンプ場数 (当該年度の実施ポンプ場数)	1か所 (1か所)	4か所 (3か所)	5か所 (1か所)	10か所 (5か所)	11か所 (1か所)
B:対象ポンプ場数	11か所				
改築実施率=(A/B)×100	9%	36%	45%	91%	100%

2. 定量的指標及び成果目標について

【防安・重点】指標① 浸水対策実施率

■対応する事業

浸水対策(管渠・貯留施設)

■計画の成果目標

優先して浸水対策を実施する「整備促進エリア」43か所のうち、11か所の浸水対策を完了し、浸水対策実施率を26%とします。

■指標の定義

整備促進エリア数のうち、対策を完了した整備促進エリア数の割合

■定量的指標と目標値

定量的指標	目標値				
	R8	R9	R10	R11	R12
A:整備促進エリアの対策完了数 (当該年度の対策完了数)	2か所 (2か所)	5か所 (3か所)	7か所 (2か所)	9か所 (2か所)	11か所 (2か所)
B:整備促進エリア数	43か所				
浸水対策実施率 = (A/B)×100	5%	12%	16%	21%	26%

【防安・重点】指標② 重要な下水道管の耐震化率

■対応する事業

地震対策(管渠)

■計画の成果目標

地震災害により下水道施設が被災した場合の社会的な影響を最小化するため、重要な下水道管(約770km)の耐震化率を53%にします。

■指標の定義

重要な下水道管(緊急輸送道路の下に埋設される下水道管および避難対策施設・防災拠点施設・災害医療機関などの重要施設から排水を受ける下水道管、中継ポンプ場下流の圧送管)のうち、「耐震診断の結果耐震性が確保された延長」と「耐震化工事実施延長」の合計の割合

■定量的指標の現況値及び目標値

定量的指標	現況値	目標値				
	R7 (見込み)	R8	R9	R10	R11	R12
重要な下水道管(約770km) の耐震化率	34%	38%	41%	45%	49%	53%

3. 定量的指標及び成果目標について

【防安・重点】指標③ ポンプ場の耐水化実施率

■対応する事業

耐水化(ポンプ場)

■計画の成果目標

大雨や河川氾濫により浸水被害が想定されるポンプ場4施設について、排水機能の停止に伴う社会的な影響を最小限にするため耐水化対策を実施し、ポンプ場の耐水化実施率を100%とします。

■指標の定義

計画期間中の対象施設のうち、耐水化対策を実施したポンプ場の割合

■定量的指標と目標値

定量的指標	目標値				
	R8	R9	R10	R11	R12
A:耐水化を実施した施設数 (当該年度の実施ポ施設数)	—	—	2か所 (2か所)	3か所 (1か所)	4か所 (1か所)
B:対象施設数	4か所				
ポンプ場の耐水化実施率=(A/B)×100	0%	0%	50%	75%	100%

3. 定量的指標及び成果目標について

【防安・重点】指標④ ポンプ場の非常用電源確保率

■対応する事業

非常用電源の確保(ポンプ場)

■計画の成果目標

排水機能の停止に伴う社会的な影響を最小限にするため、東大宮ポンプ場において非常用電源を確保し、ポンプ場の非常用電源確保率を100%とします。

■指標の定義

計画期間中の対象ポンプ場のうち、非常用電源を確保したポンプ場の割合

■定量的指標と目標値

定量的指標	目標値				
	R8	R9	R10	R11	R12
A:非常用電源を確保したポンプ場数 (当該年度のポンプ場数)	—	—	1か所 (1か所)	1か所	1か所
B:対象ポンプ場数	1か所				
ポンプ場の非常用電源確保率=(A/B)×100	0%	0%	100%	100%	100%